

三翠化学会

(題字は福川先生)

第26号
昭和62年3月31日発行
三翠化学会
津市上浜町1515
三重大学農芸化学科内
電話/津(0592)32-1211
振替/名古屋9-59345
印刷/株式会社あるむ
☎(052)332-0861大8長谷川正一

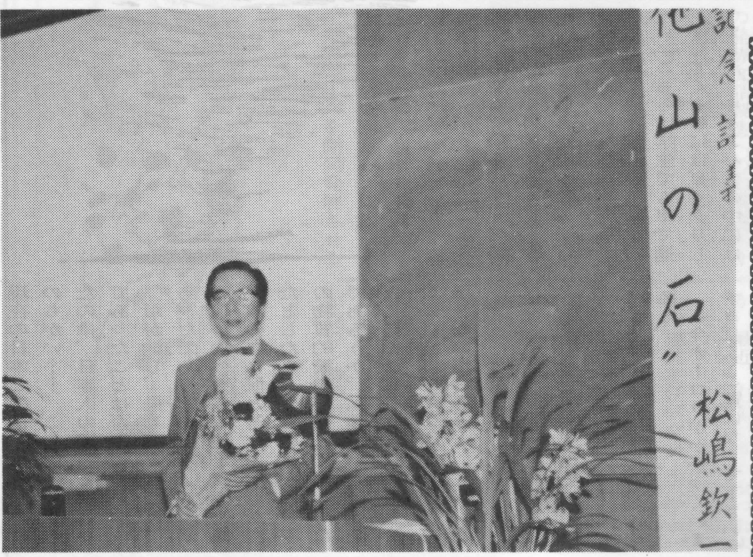
昭和62年度 定期総会

久しぶりに三重大で

松嶋先生の記念講演も 5月10日(日)に

昭和六十二年三翠化学会総会は、五月十日(日)に、三重大大学において開催致します。大学で行なうのは四年振りになりますので万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

当日は、午前十時より三翠化学会総会を行ない、引き続き十一時より三重大支部総会を行ないます。そして、十一時十分より松嶋欽一先生の「今昔物語り」を約一時間にわたり拝聴し、続いて、第二生協食堂において懇親会を致します。うまい地酒も準備しておきます。また、今年



松嶋欽一先生

新学部「生物資源学部」 について

山田 哲也先生

農学部と水産学部の合併により新学部を作ると言う話は、現段階ではもう話ではなく、実現化は確実である。というのは、昭和六十二年度の予算案に既にこの件が盛り込まれているからである。

三重支部総会案内 当日併催される

記

三翠化学会終了後を利用して、一日時・五月十日(日)午前十一時より
一、総会会場・三重大大学農学部大講義室
二、懇親会会場・三重大学生協第二食堂

松嶋欽一先生 定年退官される

記

松嶋欽一先生は本年三月をもちまして定年退官されることになりました。そこで、去る二月十三日農学部大講義室において定年講義が行なわれました。

先生の水年をわたる御指導に感謝するため、発酵学研究室の専攻生一同あい集い、祝賀パーティーを開催することにいたしました。皆様おさそい合せの上御出席下さるようお願いいたします。

先生の水年をわたる御指導に感謝するため、発酵学研究室の専攻生一同あい集い、祝賀パーティーを開催することにいたしました。皆様おさそい合せの上御出席下さるようお願いいたします。

先生の水年をわたる御指導に感謝するため、発酵学研究室の専攻生一同あい集い、祝賀パーティーを開催することにいたしました。皆様おさそい合せの上御出席下さるようお願いいたします。

松嶋欽一先生は本年三月をもちまして定年退官されることになりました。そこで、去る二月十三日農学部大講義室において定年講義が行なわれました。

先生の水年をわたる御指導に感謝するため、発酵学研究室の専攻生一同あい集い、祝賀パーティーを開催することにいたしました。皆様おさそい合せの上御出席下さるようお願いいたします。

松嶋欽一先生は本年三月をもちまして定年退官されることになりました。そこで、去る二月十三日農学部大講義室において定年講義が行なわれました。

先生の水年をわたる御指導に感謝するため、発酵学研究室の専攻生一同あい集い、祝賀パーティーを開催することにいたしました。皆様おさそい合せの上御出席下さるようお願いいたします。

農学部と水産学部の合併により新学部を作ると言う話は、現段階ではもう話ではなく、実現化は確実である。

先生の水年をわたる御指導に感謝するため、発酵学研究室の専攻生一同あい集い、祝賀パーティーを開催することにいたしました。皆様おさそい合せの上御出席下さるようお願いいたします。

農学部と水産学部の合併により新学部を作ると言う話は、現段階ではもう話ではなく、実現化は確実である。

先生の水年をわたる御指導に感謝するため、発酵学研究室の専攻生一同あい集い、祝賀パーティーを開催することにいたしました。皆様おさそい合せの上御出席下さるようお願いいたします。

農学部と水産学部の合併により新学部を作ると言う話は、現段階ではもう話ではなく、実現化は確実である。

先生の水年をわたる御指導に感謝するため、発酵学研究室の専攻生一同あい集い、祝賀パーティーを開催することにいたしました。皆様おさそい合せの上御出席下さるようお願いいたします。

断章の方の来

松嶋欽一先生

初めて手にした月給が、金四百七十円。そして、今、私はこの学校を去ろうとしている。時まさに、三重大大学農学部が長い歴史の幕をおろし、装いを新たにしているその時である。

東海支部 ボーリング大会予告!!

久しぶりに、東海支部企画のボーリング大会を開催します。今回は当支部長別府宏氏(専二)と副支部長毛利昭氏(大二)の還暦をお祝いする大会です。

一、星まわり

「モシモシ、先ほど定期券をお売りの松嶋先生、お久しぶりです。松嶋先生という人は、学生さんでしたか、職員の方でしたか」

二、郭公

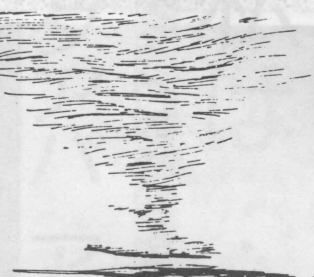
その様な運命の星の下に、私は生れて来たのであろうか。

三、セロテープとジープ

去る太平洋戦争中の四年間は、日本にとっては第二の鎖国時代とも言えるべき時代であった。

その便利な帯が、セロテープと称するものであることを知り、更にはそれを自分の手で使うことが出来るようになったのは、ずいぶん後になってからのことであった。

セロテープこそ、私にとっての昭和の黒船であったのである。



現在の日本との信じられない程のちがいが……。この落差を埋めたのは、日本人の資質と勤勉であったことは否定すまい。

だが併し、果してそれだけであったであろうか。若しも、朝鮮戦争やベトナム戦争という他民族の血と涙と苦しみが無かつたとしたら、今日のような日本の物質的繁栄が果してあり得たであろうか。私達日本人は、たとえ時たまにせよ、このことを静かに自問してみる必要があるのではないだろうか。

五、オーロラ乱舞

夜更けに電話が鳴った。「いまごろ何だろう」と受話器をとると、

「今オーロラがかかっていますよ。すぐご覧になって下さい。」

同じ街に住む日本人Sさんのハズダ声である。話には聞いていたが、まだ見たことがなかったオーロラの初対面のチャンス到来である。いそいそと身仕度して寒戸外に出る。晩秋から初春にかけて、ここカナダ国サスカトーン市では、夜、暗闇の空にオーロラがかかることがあった。

○月○日

ボタン一つ失つても顔の形が変るほどの制裁を受けたという日本の軍隊と、軍務を終えて遊びに行く時ですらジープを乗り回すことを許すアメリカの軍隊との比べようもない程のへだたりをまざまざと見せつけられた感じであった。

「初めてスーパーマーケットという所をのぞいてみました。野菜、果物、肉類、調味料等、あらゆる食料が明るい店内に整然と並べられていて、目もさめるようなきれいな色です。乳母車のような車まで備えつけられていて、車まで運ぶのに便利に出来ています。牛乳は四角い紙製の容器に入れて、また卵は十個ずつプラスチック製の箱にスッポリとはめこんで売っています。便利なものが出来ていると感心しながら手にとりて見せていました。」

○月○日

「無事到着しました。最初に印象的であったのは、家々の屋根がカラフルなことです。赤い屋根、青い屋根の家々

以上は、発展途上国から日本にやって来た留学生が、その様子に驚きと羨望をこめて家族に書き送った手紙の一部である、と言つても疑う人はいないであろう。

四、ある家郷通信

ところが、事実は逆で、まじめながらもこの私自身が、目を丸めながら家族に書き送った通信の抜粋なのである。もともと、ふた昔も前の話ではあるが、わずかに二十年前の日本と

六、旅にしあれば

伊賀と伊勢の国境に横たわる布引山系を毎朝夕電車で横切つて往復する通勤は、私にとってはささやかながらひと時の旅であった。

一時間たった一本しかない不便さはあったが、比較的閑散としたこの電車は毎朝夕ほとんど決まった座席にゆつたりと腰をおろすことが出来たし、それにも増して、車窓から展望できる雑木林や溪谷の四季おりおりと、四十年眺めつづけても飽きないものがあつた。

若葉の春、青き繁みの夏、紅葉の秋、新雪の冬、どれをとっても、私を慰め、私を浮世の煩しさを脱却させてくれるに十分であつた。

未知なる世界を求めてさまよふのが旅の一つであるとするならば、私の研究生活もまた旅であつた。時には沢に迷い、沼に足を当たらせて苦しんだが、小高い丘の頂上に辿りついて新しい展望を楽しんだ喜びは忘れ難い。

ふと気がつけば、定年退職がすぐ目の前にやってくる。さあ、乗り換えである。こんどの汽車は、今まではちがつてのんびりとした鈍行らしい。車窓からはゆつたりと景色を楽しむゆとりもあるだろう。気に入つた処があれば途中下車して、気がすむまでそこで時間をつぶすことだって出来そうである。

大学について

留學先は Uniformed Services University of the Health Sciences (略して USUHS)。所在地はメリランド州のベセスダ。ボスは教授。主として研究室では大腸菌の膜蛋白質の研究を行つておられます。私自身は抗生物質関係の実験を行っていました。期間は昭和六十一年三月一から六十一年六月。研究室での印象はやはり金があること。全館二十四時間冷暖房完備、毎日の掃除も完璧で大変居心地が良い。大学の建物全体がアイソトープ実験室になっており、その種の実験を行うのに便利でした。研究費も豊富で、使い捨て器具を本当に使い捨てにして、日本でも企業や、大研究所では当然のことでしょうが、

車について

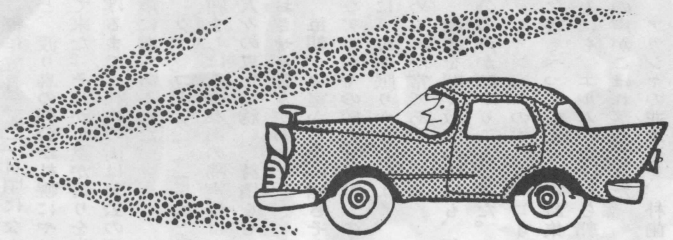
ワシントンDCの空港から、ベセスダに向かう車の中で驚いたのは日本車の多いこと。実際にどの位の日本車があるのかは知りませんが、十台に一台は日本車という感じがします。ドイツ車も同様に数が多い。

私が買ったのはシボレー・ノヴァという一昔前の米国産中型大衆車。価格五百ドル。中型と言つてもかなり大きく、エンジンには六気筒。買った時点で既に走行距離十四万キロでエンジンは中古のものに取り換えてありました。米車は大抵十萬キロと走るとエンジンが壊れますが、これを再生したものを使っている。日本でも企業や、大研究所では当然のことでしょうが、

車を購入するときにはこだわったのはエンジンだけでした。というのは、友人の買った車は一月もたないうちにエンジンが壊れ、再生するのに車の値段より高かったと聞いていたからでした。

幸いなことにエンジンに関しては、大きなトラブルはなかつた。と言ってもすこいエンジンではありましたが、無事に済みました。しかし、車はエンジンだけで走るのではないこと知らされました。パワーステアリングポンプ交換。キャブレター交換。この時は雨が降るとエンジンが止まり、困りました。オートマチック・トランスミッション再生。スーパーで買物をしたところバッテリーがあがっており、かからない。そこでAAA(トリプルA、日本のJAFに相当)を呼んでバッテリーを接続し、エンジンをスタートさせてもらい、さあ進進。しかし、エンジンは回っているのに車体は全く動かない。再びAAAに電話をして、レッカー車で運んでもらいました。

小さなトラブルは他にもありましたが、幸いだったのは路上での故障がなかったことです。毎日片道十キロ程通勤していましたが、路上で故障している車が実に多い。特に雨の日が多く、必ず何かは動けなくなつていました。したがってレッカー車の需要は多く、ガソリンスタンドはどれもレッカー車を所有しています。メリランド州では、車検は、車を売買するときに取得しなければなりません。車検のために見積りに出たところ、排気系統すべて交換せよとのこと。結局売るのはあきらめ、くず鉄として処分しました。



どこへ行つても日本人

スーパーでヌードル数十個買うためにレジで並んでいると後ろの方で、あの人達どうしてあんなに沢山ラーメン買うの? という子供の声がありました。こういう環境で暮らしていました。

ベセスダには国立衛生研究所(NIH)という大研究所があり、日本人も数百人来ており、道を歩けば日本人に当たりまふ。この地区は特別だとしても、どこへ行つても日本人に会います。ナイアガラの滝ではシャッター押してくれと頼まれました。ケネディの墓の前では、DC人にならば挨拶しました。DCにはスミソニアン博物館が多くありますが、日本語のパンフレットなどもあり、トイレと書いてあつたりします。

アメリカ留学生生活報告

発酵研究 栗冠和郎 生

毎年海外に出掛ける人は500万人に達するとか。一昨年、私もつとその中の一人になり、米国で留学生生活を送ることが出来ました。帰国して既に半年以上が過ぎ、報告が遅くなりましたが、特に印象の深い事柄を以下に羅列します。

入院について

USUHS到着後しばらくは、海軍病院で健康診断を受けました。ちなみにこの病院は、レーガン大統領が手術を受けた所です。集団検診といっても、個室で一人一人受けるもので、日本の様に裸で行列を作ることはありません。検診ではパンツまで脱がされましたが、何をしてもかかるとおっしゃる。網膜剥離と診断されました。面白い患者が来たというので、沢山です。病気がいへば、

interesting、などと言いなから、目を覗き、また、あちこち暗い部屋を引張り回された挙句、電気がついた時には回りは海軍の制服が数名(これも医者)という状況でした。医療費が高いと聞いたので、手術するかどうかためらつたのですが、結局開業医の先生に手術をしてもらい、二日間入院しました。ある日の夕食のメニューを紹介いたします。ポークステーキ(百五十グラム位あり)、ニンジン、マッシュポテト、パン、ジンジャーエール、コーヒ、シャーベット、なかなか豪華で味もまずまずです。病気がいへば、



他に整形外科医と内科医にお世話になりましたが、皆大変親切で、治療水準は最低、などと言われませんが、この説に賛成です。

その他

私はジャズが好きですが、日本と同様、本場のアメリカでもラジオ、テレビで聞く機会はほとんどありません。ある晩珍しくテレビでアメリカのジャズフエスティバルの録画をやつていました。番組の終りにスタッフの名前などが出て来ますが、どうも日本人の名前が多い。最後に出たのが制作NHK、こういうのもので輸入しなければならぬというのね、どうなっているんでしょうか。

行く時はドル二六〇円、帰りは二六〇円。大分損した。悔しい。

米国生活の一年三ヶ月は、あつという間に過ぎてしまいました。何故なら酒が安い、というのが結論です。

ラーメン、酒について

我が輩は肉食である。これがなくては生きてはいけません。幸せなことに、普通のスーパーマーケットでヌードルを売つており、お蔭で生き長らえることが出来ました。形態は日本のインスタントラーメンと同じです。日本からはNISSINとMARUCHANが現地生産しており、これが安い。セールの時で六コでドル。味は、ビーフ、ポーク、チキン、シユリン、オリオン、エンタープライズ、とあり、一長一短です。

スーパーで見ると、米人は少量買つて行き、東洋人は大量に買つて行きます。これは、米人はスーパーとして食べ、東洋人はラーメンとして食べるからです。袋の説明には、一袋で二人前とありましたが、カップヌードルもありました。食べ比べた結果ではマルちゃんの「with shrimp」というのがベスト。東洋食品の店へ行く、輸入ラーメンも売つておられますが、三倍位高い。韓国製のもの、日本製に比べ安いのですが、スープが赤く、とにかく辛いのが難点。

酒は、ワインも、ビールも、

職場紹介

愛知県食品工業試験所

内藤 茂三 (大18)

愛知県食品工業試験所は、経済の復興が順調に進み、国民生活が次第に落ち着きを見せはじめるようになった昭和三十一年四月に、県下の食品業界の強い要請に応え、学識経験者の支援を得て、全国初の総合的食品試験研究機関として設立されました。その後、県下の中小食品業界の技術的発展を期して研究、指導、依頼分析、人材養成などの業務を継続し、ようやく昨年三十周年を迎えることになりました。

私が大学を卒業し愛知県食品工業試験所に就職してから早くも十五年が過ぎようとしています。当所は愛知県下の食品問題について試験、研究を行っている機関で、愛知県商工部に所属しています。開所以来三十年間に食品工業は激しく変動し、この間、当所においても業界の製造技術の変化と技術開発に対する要望に対応して様々な課題に取り組んできました。

三十年代には広域流通と大量生産の状況のもとで省力化のための通風製麹、酵素剤仕込み技術と生産技術、保存性向上のための菌学的管理や保存料の有効利用技術の開発に努め、四十年代は栄養のバランス、食品の安

全性に対応する天然添加物の活用技術、そう菜の低温流通技術、レトルト技術の開発を行ってきました。さらに、後半には深槽発酵法、加熱工程の効率化技術の開発、PCB、重金属の試験に積極的に対処しました。五十年代には、食品は多様化時代となり、技術開発も様々な展開をみて、豆みそ、たまり、漬物の低塩化、調理食品の日持ち、食品のオゾン処理、固定化微生物の発酵食品製造への応用技術など幅広い高度な技術開発を進めてきました。

これから、消費者のますます高まる質的要求と多様化するニーズに対応して発展していくためには、中小企業自らが大企業とは違った小回りのきく多品種少量生産のできる独特の体質を強化していかなければなりません。そのため、当所も業界ニーズの的確な把握とそれに基づいた業界ニーズを開発発展させるべく、中長期研究計画を策定し、研究業務を遂行することとしています。その重点項目は先端、先進技術としてバイオテクノロジー、無菌化充填包装技術、マイコン・センサ・自動化技術及び未利用資源利用技術の四つの技術研究課題です。

現在試験所の職員は四十八名です。このうち研究職員は三十八名で、その出身校をみますと圧倒的に中部地区が多く、岐阜大学十名、名古屋大学十名、静岡大学五名、三重大学三名が主なところですが、専攻はほとんどが農芸化学です。現在の組織は発酵食品部、加工食品部、保藏食品部、応用技術部、企画普及室、総務課の四部一室一課制です。さて当試験所の三課制職員は三名いますが、その頂点となっている活躍しておられますのが酒井達也応用技術部長(大学一回)です。現在マイコン・センサ・自動化技術の開発を行い、凍結濃縮法の連続化技術やセンサによるバイオリアクターの制御技術の開発を進める一方、食品業界と共同研究を行い、食品生産工程の自動化技術の開発をめざす食品高度生産システム技術の開発に着手しています。難解なテーマに取り組まれている感じが、最近、白毛が多くなったような気がします。発酵食品部の山田鐘美主任研究員(大学十一回)は入所以来、清酒、みりん各種醸造の製造および清酒製造、濃縮みりんの製造開発を進める一方、酒類の多様化、地酒の品質向上、酒造における省エネルギー、酒造における資源の有効利用の研究に着手しています。所内でも有数のマイコン、パソコン等のコンピューター処理技術の所有者です。

最後に私は加工食品部に属し、最初の五年間は天然抗酸化物の開発を行ってきましたが、最近十年間は食品の変敗現象と原因微生物、無菌化充填包装について検討を行ってきました。現在、オゾン、低出力および高出力の紫外線を殺菌手段として食品の無菌化を行っております。

以上簡単に試験所の概要と三重化学会員の動向について述べてまいりましたが、当所では六十三年度の新施設の完成を目指して総合的な計画を進めており、ここ数年間で大きく変化すると考えられます。また、ソフト面の強化にも重点を置き、現在バイオテクノロジー研究推進のための職員を順番に大学に派遣してDNA組換え技術の研修を行っており、これらの研究を進展させると共に情報提供のための研究会、講習会、指導などを行っています。

去る昭和六十二年一月十日、津の都ホテルで「三重県きき酒名人決定戦」が行われ、我が三重大学農学部農芸化学科より五名の精鋭(西本、飯塚、磯村、木藤、楠谷)が学生代表として参加しました。他の選手は地区予選を勝ち抜いてきた強者四十一名。口数少なく、方法を念にチェックし、きき酒も真剣そのものであった。

化学五人組はというと、ゲスのミス三重がかわいいたの、勝・準備勝をかっさつてしまったのである。

賞のぐいのみだけであった。最後にこの場をかりて、きき酒大会でお世話になった酒造組合の方々、諸先輩の方々に御礼申し上げます。なお、二人の合計点は全国で八位でした。

去る昭和六十二年一月十日、津の都ホテルで「三重県きき酒名人決定戦」が行われ、我が三重大学農学部農芸化学科より五名の精鋭(西本、飯塚、磯村、木藤、楠谷)が学生代表として参加しました。他の選手は地区予選を勝ち抜いてきた強者四十一名。口数少なく、方法を念にチェックし、きき酒も真剣そのものであった。

化学五人組はというと、ゲスのミス三重がかわいいたの、勝・準備勝をかっさつてしまったのである。

賞のぐいのみだけであった。最後にこの場をかりて、きき酒大会でお世話になった酒造組合の方々、諸先輩の方々に御礼申し上げます。なお、二人の合計点は全国で八位でした。

甘口、辛口に、純米酒など、六種類の日本酒を飲んで、酒造りの研究を重ねた成果。「味にはうるさいけど、酒量にはあまりいいないです」。ちなみに、卒論は二人とも「細菌利用の排水処理」。

生、主婦。ほかにミス三重や上野・忍君屋敷の「ミスくのー」、留学生などもゲストで加わった。休憩をはさんで二回試験し、前後で清が一致したかどうかを競う。

全種正解で優勝したのは楠谷仁さん(三)、準備勝は飯塚正樹さん(三)。ともに三重大学農学部四年生の二人は、農芸化学科発酵研究室に籍を置く。日本酒造りの講義を受けたほか、趣味も兼ねて酒造りの研究を重ねた成果。

参加者は、会社員、大学写真左より飯塚、女優・池波志乃、楠谷、華道家元・安達瞳子

▲三重県大会(朝日新聞より転載)

きき酒漫遊記

農芸化学科四年 楠谷 仁

去る昭和六十二年一月十日、津の都ホテルで「三重県きき酒名人決定戦」が行われ、我が三重大学農学部農芸化学科より五名の精鋭(西本、飯塚、磯村、木藤、楠谷)が学生代表として参加しました。他の選手は地区予選を勝ち抜いてきた強者四十一名。口数少なく、方法を念にチェックし、きき酒も真剣そのものであった。

化学五人組はというと、ゲスのミス三重がかわいいたの、勝・準備勝をかっさつてしまったのである。

賞のぐいのみだけであった。最後にこの場をかりて、きき酒大会でお世話になった酒造組合の方々、諸先輩の方々に御礼申し上げます。なお、二人の合計点は全国で八位でした。

甘口、辛口に、純米酒など、六種類の日本酒を飲んで、酒造りの研究を重ねた成果。「味にはうるさいけど、酒量にはあまりいいないです」。ちなみに、卒論は二人とも「細菌利用の排水処理」。

参加者は、会社員、大学写真左より飯塚、女優・池波志乃、楠谷、華道家元・安達瞳子

▲三重県大会(朝日新聞より転載)

他大学大学院での生活

升井 洋至 (大32)

六年間も学生生活を送り、本日はは社会人として親学行をするべきであり、友人達の多くから「まだ学生か。気楽だろうな」という言葉を投げかけられる私ですが、そんな学生生活について、学校と近況について御知らせします。

私が現在、籍を置いているのは、名古屋大学大学院の生化学部(名大生化学部)です。この専攻は、農学部附属の生化学制御研究施設で行なわれる大学院教育で、学部学生は所属せず、第一部門(代謝制御)、第二部門(生理活性物質調節)、第三部門(栄養制御)及び共通講座の分化遺伝制御講座の計四つの研究室から構成されています。各研究室は、教授・助教授の二つのグループ制をとり、グループ単位で研究が進められています。

学部学生が所属しないこともあり、院生の出身は、多くは他大学の農学部をはじめ理学部、教育学部等の出身者により占られています。

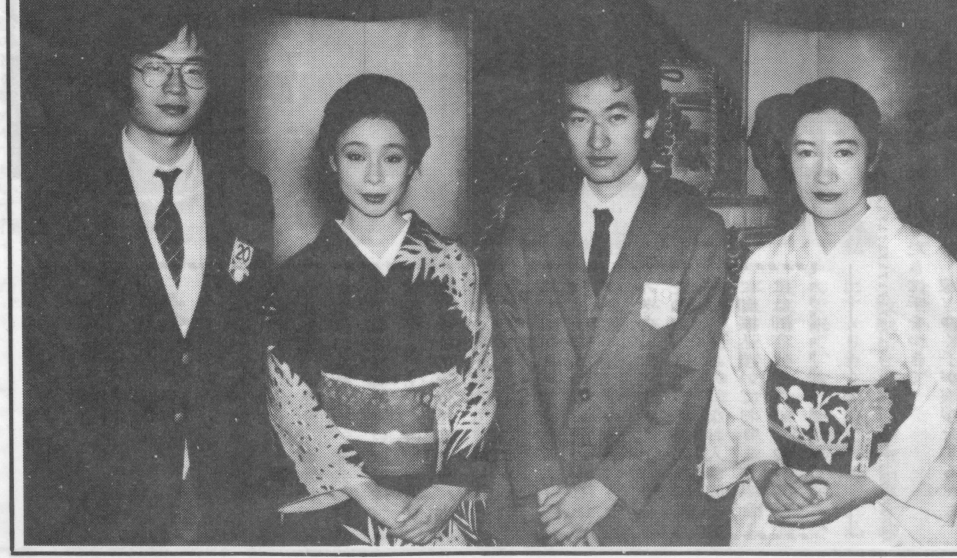
研究の内容は、第三部門が動物関係で他はすべて植物関係であり、ほとんどの研究が分子レベルのものであります。

本専攻の教育の特色は、修士入学の場合、R1実験を含めた二ヶ月間にわたる特別実験が第一に挙げられます。さらに、週一回の研究施設セミナーがあり、学内外の研究者のセミナーが開かれ、海外からの研究者の訪問がある場合も、随時セミナーがあるので院生にとって新しい知識や考え方に触れるよい機会が提供されています。

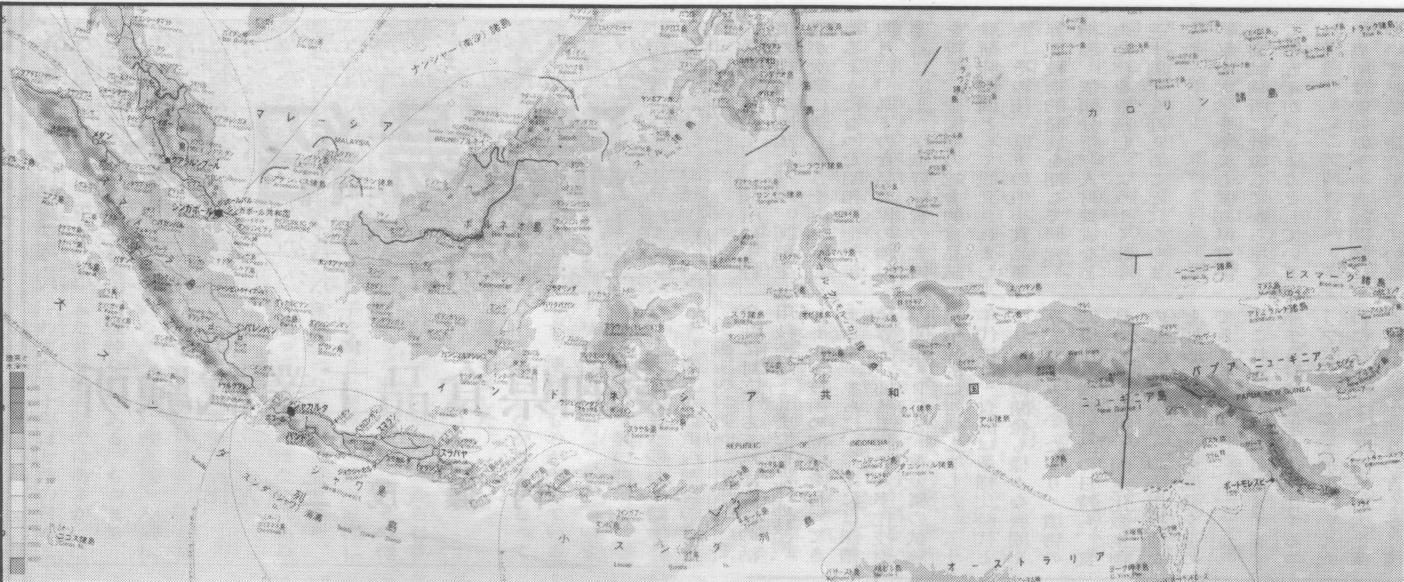
また、このセミナーの時間を利用して、必修科目の特別輪読(一年一回)が行われます。これは、与えられたテーマについて約一時間、施設の全構成員の前で発表するものです。それ以外にも修士・博士論文の中間発表も行われ、普段から研究発表や考え方を対する一種独特の教育が行われています。

そして、外国人客員教授の席があり、海外の研究機関との結びつきもその特色の一つでしょう。さて、学生生活の方は、院生のみなので平均年齢は高くなりますが、夜は結構飲んだりもしますが、夏は海水浴、冬はスキーが多岐にわたっているので、

院生同士の会話からいろいろなことを知ることが出来るのも役に立っています。



写真左より飯塚、女優・池波志乃、楠谷、華道家元・安達瞳子



今、私は…… 「テイダアパ」の国

川合 太郎 (専一)

るもので、どの様に間に合わせ
目的を達成するかということに
苦勞させられ、何でも揃う
日本ではとても考えられぬ状況
でした。

私が見た インドネシアの七不思議

一、歩いているのは人でなく天
秤棒で荷物を担ぐ商人であ
ること。交通機関は馬車、ベ
ンチャー(三輪自動車)、ペモ
三輪自動車(ミゼット)、ダイ
ハツ(四輪)、バスがあります。
一番涼しく心地の良いのが
ベチャ(二人乗り、日本円で
七〇円から一七〇円位)で
庶民の給料(月三万円位)か
ら見るに結構高価にもかかわ
らず、これがよく利用されて
いるのです。

二、仕事は遅いが、自動車とな
ると極めて敏捷になる不思議
な現象。自動車は物凄く速い。
スピード制限なし、割込み
追い越しのやみらしい放題。互
いにスリルを楽しんでいると
しか言えない。

三、着倒れ……おばいさんの方
が雇主より良い服装をしてい
る、という言い過ぎかも知
れぬが、安い給料(月二万円
位)の使用人が服には目がな
く、給料を全部、衣装に使っ
てしまうということ。

四、年令が一年で十才も増える
不思議な人々。お手伝いさ
んを雇う時、年令を聞きませ
んが大抵はキラキラ(日本語で
おおよそ)何才かと言われ、辞め
る段階になって十才も年を取
ったという笑い話もありま
す。何事もキラキラとテイダ
アパ(たいした)ことな
いよ)で深刻に考えず、無頓
着なんびりした人たちの集
まりです。

五、夫多妻という古い習慣と、
オフィスの重要地位や大学の
先生などに多くの女性が進出
し、女性が男性を使っている
姿が日本より多く見られる
す。しいたげられた女性と権
力を有する女性の混在。

六、泥水で洗ったブラウス、白

くなる。マンデイ(水浴)も
低所得の庶民は川でやりま
す。その川も日本のような清
流でなく粘土のまじった泥水
ですが、それで洗濯した白い
ブラウスが意外ときれいだ
うこと。

七、一一〇Vと二二〇Vとの混
在。この電圧の違った配線、
コンセントとを間違えなく使
い分ける器用さと柔軟さ……
なぜ統一しないのだろうか。
理解による適切な援助を

こういつた生活態度の違いに
よる、日本人との物の考え方
精神構造の違いに大きく悩ま
れることがあります。役所で
会社で、街で何をさせても結着
が着く迄に時間がかかる。何か
につけてお札の金がいらない
こともよく理解し忍耐しなけれ
ばなりません。私の例ですが、
豪雨で倒木のため電線が切れ停
電した事がありました。隣の
家が電燈が灯っていたのに私の
ところは電気工事に何回も足
を運んで一週間目にやっと修理
完了し、冷蔵庫の貯蔵品はすべ
て腐らせたことがあります。こ
んな事は日常茶飯事であり、の
んびりとおまかにやってく
る反面、自己主張は非常に厳し
いものがあり、日本人の中にはこ
の国を「大好き」と「大嫌い」
に二分してしまうようです。
しかし見方によればノンビリ

卒業生、大学院修了生 の進路先

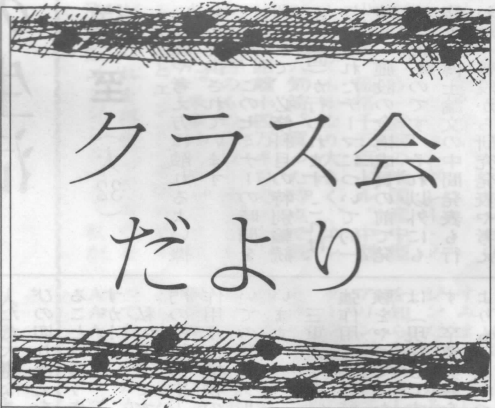
昭和三十二年卒業生
昭和三十二年卒業生お
よび大学院修了生の進路先は次
の通りです。先輩の方々どうか
御指導の程よろしくお願い申し
上げます。

学部卒業生
有宗靖雄 山崎製パン株式会社
社、飯塚正樹 京都大学農学部
大学院、石田宗孝 太陽化学株
式会社、石原則幸 三重大学大
学院、出岡裕哉 三重県庁、市
川博隆 三重大学大学院、稲垣

十五回卒、 二十周年記念クラス会

昭和三十二年三月卒業、十五
回クラスのクラス会は、担任と
してお世話頂いた松嶋先生にも
御出席頂いて、卒業二十周年記
念と銘打って、六十二年十月十
八日(十九日)に昔ながらの紳
原温泉で開催された。いつもは、
なるべく皆が出席しやすいよう
にどの考えから、正月の三日頃、
名古屋の駅の近くで開催される
のが恒例となっていた。従って
出席者の顔ぶれも恒例の通りと
なっていたのだが、今回はひと
味違った卒業以来初めての再会

津津子 住友電機株式会社、磯
村直久 コミ株式会社、加藤
ゆか 三重緑地株式会社、川北
淑 教島スター株式会社、川
本朱美 住友電機株式会社、木
藤新一郎 三重大学大学院、楠
谷 仁 三重大学大学院、佐藤
孝子 (財)東海技術センター、杉
浦和明 ダイニックス株式会社、
杉本智子 株式会社ポッカコー
ポレーション、鈴木啓二 三
重大学大学院、竹島一哉 京都
ス



八期生久々のクラス会
(1986年10月10日、津市内において)
前列左より赤木先生、奈良先生、嶋林先生
中列、加藤(公)、嶋田先生、吉村、西条、山口
後列、長谷川、森岡、伊藤、藤本、石田、木村



当日は土曜日ということもあ
って、早く来れる人が一度大学
に集合し、一号館の屋上の上っ
ついで車を連ねて青山高原
へ足を伸ばした。山頂では仕事
熱心な? 某高校の先生は植物
採集に余念がなかったが、大半
の者は風の強さを首をすくめて
の探訪であった。午後五時半一
同首を長く待った松嶋先生
の御到着。宴会が始まり、東洋
醸造直送の「富久娘」で飲む程
に酔う程に会社での憂さを忘
れ、厚顔からいつしか紅顔の美
少年に戻っての楽しい時であつ
た。面々に酔いが回ると同時に
カメラにも酔いが回ったと見え
て、フラッシュが時ならぬ時に
光るようになり、結局記念すべ
き会は全員での写真を残すこと
ができないことになってしまつ
た。この記事に目をとめて下さ
った十五回生の皆さんご免なさい。
翌日は皆で赤目まで繰り出し
て四十八滝とサンショウウオと
御対面となった。昼食後名張駅
で再会を約して散会した。

本会の一般活動は、会員の
皆様から頂く年会費によって
支えられています。お陰様で
年二回の会報発行、総会の開
催等事業も定着し、ますます
発展しようとしております
が、台所の方は相変わらず火
の車の状態にあります。今年
度会費未納の皆様におかれま
しては、この点御賢察の上、
何卒御協力の程お願い申し上
げます。念のため未納の方の
みその旨御案内申し上げます
たので、同封の振替用紙にて
御振込下さい。なお入札場合
には御容赦下さい。会計幹事

会費納入の
お願い

紅葉葉の散り敷く林行きゆきぬ
子に嫁がせて旅に來し妻と
嫁しし子には觸れず妻と歩む
もみぢ落葉の積りし径を

平生の如く送りたき手をつきて
嫁ぎゆく子が挨拶をする

縮帽子被り美容室より微笑みて
子の出てくれば心安らぐ

紅葉葉の散り敷く林行きゆきぬ
子に嫁がせて旅に來し妻と
嫁しし子には觸れず妻と歩む
もみぢ落葉の積りし径を

子が描く絵のなかに妻とある如し
頬に散りくる紅葉葉見つつ

紅葉葉が埋め尽しこの傾
子に描かせたと妻も言ひ出づ

チングルマの果を珍しみ見る妻と
上高地行のバスを待ちをり

霜解けしサワグルミの葉が笹に落つ
音を聞きつつ妻と行きゆく

池の面に浮ぶ桂の黄葉葉を
揺らして鯉の泳げるが見ゆ

三十二年前に泊りし宿に來て
桂を仰ぐつれ添ふ妻と

もみぢ葉 佐々木 敏 雄